

芸閣

～図書館だより～

第2号
2021年5月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

もう梅雨入り！

近畿地方は5月16日に梅雨入りしました。統計開始以来最も早い梅雨入りで、昨年より25日も早いそうです。まだ5月なので「新緑の季節！」などという話を載せたかったのですが、雨の季節になってしまいました。

「梅雨」というのは気象学の専門用語ではなく、季節の言葉で、具体的な定義はなく「春から夏に移る時期に、その前後に比べて雨や曇りが多くなる」ことなのだそうです。雨が続く日は、じっくり読書なんかいかがですか。図書館に新しい本もたくさん入っています。

おすすめ図書

『最後のトリック』 深水黎一郎 著

2019年2月に行われた全国高校ビブリオバトル決勝大会でグランドチャンプ本に選ばれたミステリー小説です。ミステリー小説なので、「犯人」がいるわけなのですが、なんと犯人は読者！読み終えた時、「あ～私も犯人になってしまった……」と思ってしまうのです。是非、読んでください。

「最後のトリック 高校生ビブリオバトル」でネット検索すれば、この本がグランドチャンプ本になった時の動画を見られます。楽しく本を紹介していますので、そちらも見てください。

図書館員募集中！

(高校生)

本の貸出や整理などの仕事のほか、図書館の行事を企画したり、書店へ選書に行ったり、ビブリオバトルをしたり……図書館や本に関するさまざまな活動をしています。本や図書館活動に関心のある人は、是非、入局してください。お待ちしております。高校2年生も歓迎します。

裏面に新しく入った本の紹介を載せています

新しく入った本の紹介



日本の小説

- 『麦本三步の好きなもの 第2集』住野よる 著 幻冬舎
『メイジアン・カンパニー 2』佐島勤 著 KADOKAWA
『僕といた夏を、君が忘れないように。』国仲シンジ 著 KADOKAWA
『おまえじゃなきゃだめなんだ』角田光代 著 文藝春秋
『キネマの神様』原田マハ 著 文藝春秋
『スモールワールズ』一穂ミチ 著 講談社
『with you』濱野京子 著 くもん出版
『わたし定時に帰ります 3』朱野帰子 著 新潮社

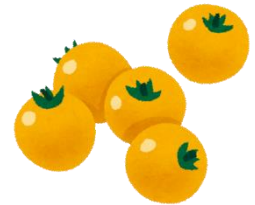


外国文学

- 『クララとお日さま』カズオ・イシグロ 著 早川書房
『夏への扉』Dパート・A・ハインライン 著 早川書房
『アーニャは、きっと来る』マイケル・モーパーゴ 作 評論社

社会科学

- 『失われた賃金を求めて』イ・ミンギョン 著 タバックス
『他者を感じる社会学』好井裕明 著 筑摩書房
『死刑廃止を考える』菊田幸一 著 岩波書店
『大学教授、発達障害の子を育てる』岡嶋裕史 著 光文社
『人は見た目！と言うけれど』外川浩子 著 岩波書店



自然科学

- 『子どもの算数、なんでそうなる？』谷口隆 著 岩波書店
『ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち』吉川徹 著 合同出版
『プライバシーという権利』宮下紘 著 岩波書店

その他いろいろ

- 『やさしい英語でSDGs』本間正人ほか 著 合同出版
『名前で人生は9割決まる』なかやまうんすい 著 自由国民社
『地方を生きる』小松理虔 著 筑摩書房
『コミュニケーション力を高めるプレゼン・発表術』上野博亨ほか 著 岩波書店



イラスト：いらすとや